



令和2年11月25日

**土石流の発生予測に向けて「ががら山実証実験プロジェクト」始動
～クラウドファンディングの支援で観測孔ボーリング作業を開始～**

広島大学防災・減災研究センターは、クラウドファンディングで支援いただいた研究資金を用いて、土石流から多くの命を守るため、土石流等の発生メカニズムの解明を目的として「ががら山実証実験プロジェクト」を本格的に始動します。

そのスタートとして、広島大学の東広島キャンパス内にある「ががら山」山頂付近において、観測孔2本のボーリング作業を開始します。

今後、観測孔内に計測機器を設置し、地下水位や水圧、水温等の推移を計測します。また、地表には衛星測位システムを設置して、降雨に伴う地表面地形の変化などの基礎データを蓄積していきます。

ががら山は、これまでも繰り返し土石流が発生しているため、観測ポイントでは、大雨などによる地下水位の上昇と、それに伴う山体膨張による地形の変化を捉えることができるものと期待できます。

また、これまで、多くの研究者が、土石流の発生メカニズム解明に向けた研究に取り組む上で、山中の地下水のデータを必要と考えるきましたが、山中に観測ポイントを設け、山体の深い部分までの継続的な観測を行うことは、大変難しいことでした。

しかし、ががら山は、広島大学の構内にあり、防災・減災研究センターからも直線距離で約1キロと、学生・教員が現地に行きやすいことから、継続的な観測に適していると言えます。

プロジェクトの本格始動にあたり、ボーリングを行う現地にて記者説明会等を開催しますので、取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

日時：令和2年11月27日（金）13：15～14：30（集合時間13：00）

集合場所：ががら山登山道入口

※「周辺地図」をご覧ください。（駐車場の位置も含む）

観測ポイント：広島大学東広島キャンパスががら山山頂付近

内容：13：00 集合場所へ集合（観測ポイントに移動）

13：15～ ががら山実証実験プロジェクト説明

（説明者：広島大学防災・減災研究センター長 海堀正博）

13：30～ ボーリング作業開始

14：00～ 質疑応答（終了14：30）

注意事項：

登山道を約15分歩きますので、動きやすく汚れてもいい服装（スニーカー、長靴等）でお越しください。

天候等により、日程が急遽変更になる可能性があります。

周辺地図：



※登山道入口付近に駐車スペースがあります。

【お問い合わせ先】

広島大学学術・社会連携室地域連携部門 三戸

Tel：082-424-5871

E-mail：chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

土石流の発生予測に向けて「ががら山実証実験プロジェクト」始動
～クラウドファンディングの支援で観測孔ボーリング作業を開始～

日 時：令和2年11月27日(金) 13:15～14:30(集合時間13:00)

集合場所：ががら山登山道入口

観測ポイント：広島大学東広島キャンパスががら山山頂付近

内 容：13:00 集合場所へ集合(観測ポイントに移動)

13:15～ ががら山実証実験プロジェクト説明

(説明者：広島大学防災・減災研究センター長 海堀正博)

13:30～ ボーリング作業開始

14:00～ 質疑応答(終了14:30)

ご出席

ご欠席

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____ (計 名)

電話番号 _____

※お車でお越しになる場合は、その台数をお知らせください。 → (台)

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、11月26日(木)16:00まで
にご連絡願います。